

市の推進受けエコ アクション21取得

掛川市が進めている「市民力による環境ISO推進支援事業」で、同市本郷の金属加工会社、豊田精工(豊田和雅社長)がエコアクション21を取得し十二日、同社で認証・登録証の授与式があった。同事業による取得は市内で初めて。

エコアクション21は、環境省が中小企業向けに策定した環境マネジメントシステム。市では中小企業が取り組む環境マネジメントシステムへの支援策として、専門知識を持つ個人や事業所を支援ボランティアとして登録し、支援を希望する事業所に紹介する同推進事業を二〇〇四年から始めた。

豊田精工はこの事業を利用してエコアクション21の取得に取り組んだ。昨年二月から、会社員時代にISO取得・運用を担ってきた西田昭司さん。同市旭ヶ丘が支援ボランティアとなり、省エネや廃棄物の減少に努めてきた。



矢木さんから登録証を授与される豊田社長—掛川市で

豊田精工で認証・登録証授与式があり、特定非営利活動法人県環境力ウーンセラー協会専務理事の矢木格さんが登録証を豊田社長に手渡した。豊田社長は「メーカーさんから取得を勧められた。取得を通して従業員の環境に対する意識がずいぶん変わってきた」と話した。エコアクション21は二〇〇四年から認証・登録が行われており、県内では五十二事業所、市内では三事業所が登録している。(楯三紀男)

エコアクション21 豊田精工が認証取得

掛川市が 支援 環境保全に取り組み

掛川市の金型設計製作業豊田精工(豊田和雅社長)は十二日、環境マネジメントシステム・

エコアクション21の認証、登録を受けた。「市民力による環境ISO推進支援事業」を推進する掛川市の支援で、初めて認証、登録が実現した。今後、市は中小企業が必要最小限の費用で環境マネジメントシステムの認証、登録ができる「掛川市モデル」の普及を目指す。

市民力による環境ISO推進支援事業は、専門的な意識を持つ個人や企業がボランティアとして登録し、市が仲介して環境マネジメントシステムの取得を希望する中小企

業を支援する仕組み。エコアクション21は、環境省が中小企業向けに策定したISO14001の簡易版システムで、県内で五十二社、市内で三社が認証を受け、廃棄物の排出削減やリサイクルなどに取り組む。

豊田社長は「システムの策定を通して、社員の意識も大きく変わった。今後、どんな成果が出るか楽しみです」と話した。



エコアクション21の認証を受ける豊田社長—掛川市本郷の豊田精工